

令和4年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（歴史的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

(1) 日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 歴史的分野の目標を達成するために、編の構成は時代の特色を理解できるような流れにし、1単位時間ごとの学習課題を設定した上で、理解を深めたり、確かめたりできる構成・配列の工夫が見られる。
- 知識や技能の習得を図るために「学習の整理と活用」を設けたり、思考力等を育成するために時代の特色を考えることができる「アクティビティ」を設けたりする工夫が見られる。
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れて見出しやページを示す箇所の色を統一したり、主体的な学びを促すような索引やインターネットのデジタル資料を活用した学習ができたりする工夫が見られる。

(2) 日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 「先人に学ぶ」を設け、現代と歴史とを関連づけて考えながら、歴史を身近に感じることができるようにしている。
- 「でかけよう、地域調べ」の特設ページを設け、生徒が身近な地域の歴史を、手順を踏まえた学び方で学習できるように工夫している。
- 人権問題に関する記述が、影の部分だけでなく、当時の社会や文化を支えるなどの光の部分の記載がしっかりなされている。
- 二次元コードの掲載など、ICT機器が有効活用できるような工夫がされている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。